

飛鳥資料館のみどころ (3)

飛鳥資料館では、地階にビデオコーナーを設置しています。この度、機器を一新するとともに、内容の拡充をおこないました。

これまで、飛鳥時代の歴史を紹介したプロローグ編である「遙かなる飛鳥の時代」(6分)、山田寺の歴史から東回廊の発掘調査とその意義について解説し



ビデオコーナー

た「山田寺東回廊」(9分)、須弥山石や亀石、猿石など飛鳥に残る石造物を紹介した「飛鳥の石造物」(6分)、飛鳥時代における古墳の変遷から艸墓古墳、天王山古墳について解説した「飛鳥の古墳」(6分)、飛鳥におかれた宮の構造とその変遷を紹介した「飛鳥の宮」(4分)の5本でした。

今回これに、高松塚古墳の発掘に参加した人々のエピソードを中心とした壁画発見までのドキュ

メンタリーである「高松塚古墳の歴史」(23分)、古墳の構造から出土品を解説した「高松塚古墳の構造・出土品」(11分)、壁画について解説した「高松塚古墳の壁画」(15分)、古墳の保存に関する歴史を紹介した「高松塚古墳の保存」(10分)の高松塚古墳に関する4本と、最新のデータを元に古代国家・飛鳥時代の歴史を詳しく解説した「飛鳥時代」(22分)を加えた計10本の構成となりました。

これらの映像をご覧いただくことで、飛鳥の散策がより一層充実したものとなり、館内の展示品とともに、飛鳥の歴史や文化財について理解するための一助となれば幸いです。

また、これらをDVDやビデオとして販売しています。詳しくは飛鳥資料館(電話0744-54-3561)までお問い合わせください。

(飛鳥資料館 西山和宏)

『飛鳥 その時代』

(「遙かなる飛鳥の時代」「山田寺東回廊」「飛鳥の石造物」「飛鳥の古墳」「飛鳥の宮」収録)

DVD ¥2,000

『高松塚古墳の歴史』

(「高松塚古墳の歴史」「高松塚古墳の構造・出土品」「高松塚古墳の壁画」「高松塚古墳の保存」収録)

ビデオ ¥2,000、DVD ¥3,000

記録

速報展

発掘速報展「奈良の都を掘る 平城2003」

平成15年11月1日～21日 平城宮跡資料館
史跡川原寺寺域北限調査の成果速報展及び

「古代飛鳥の模型」の展示

平成15年10月27日～2ヶ月間

飛鳥藤原宮跡発掘調査部資料室

現地説明会

平城第365次(名勝旧大乗院庭園)発掘調査

平成15年11月15日(土)午後1時30分～

報告者: 平城宮跡発掘調査部 金井 健 技官

飛鳥藤原第129次(石神遺跡16次)発掘調査

平成15年11月22日(土)午後1時30分～

報告者: 飛鳥藤原宮跡発掘調査部

内田和伸 主任研究官

埋蔵文化財発掘技術者研修

古代集落遺跡調査課程専門研修

平成15年10月1日～10月10日 13名

遺跡環境調査課程専門研修

平成15年10月16日～10月31日 12名

官衙遺跡調査課程専門研修

平成15年11月27日～12月9日 13名

遺跡地図情報課程特別研修

平成15年11月11日～11月14日 24名

研究会

古代官衙・集落研究会

平成15年12月12日(金)～13日(土)

午後1時～翌午後3時

平城宮跡資料館講堂

最近の本一冊編・著の刊行物から

奈良文化財研究所編『奈良の寺 世界遺産を歩く』
岩波書店

田中琢編『古都発掘 藤原京と平城京』

岩波書店(2003年復刊)

小澤毅著『日本古代宮都構造の研究』 青木書店

杉山洋著『唐式鏡の研究 飛鳥・奈良時代

金属器生産の諸問題』 鶴山堂

松井章編集・監修『考古科学的研究法から見た木の文化・骨の文化』 クバプロ

松井章編『環境考古学マニュアル』 同成社

沢田正昭編集・監修『遺物の保存と調査』 クバプロ

村上隆著『金工技術』(日本の美術443) 至文堂

清水重敦著『擬洋風建築』(日本の美術446) 至文堂

編集 「奈文研ニュース」編集委員会

発行 奈良文化財研究所 <http://www.nabunken.jp>

Eメール jimu@nabunken.go.jp

発行年月 2003年12月